



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 中部飼料株式会社  
コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 平野 宏

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 井藤 直樹

TEL 052-562-2010

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	74,287	15.8	780	△20.9	939	△14.4	611	26.1
25年3月期第2四半期	64,161	△4.9	986	1.3	1,097	6.5	485	△12.9

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 803百万円 (225.5%) 25年3月期第2四半期 246百万円 (△19.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	23.31	—
25年3月期第2四半期	18.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	65,654		35,687			54.3
25年3月期	66,062		35,059			53.1

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 35,667百万円 25年3月期 35,048百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	6.2	1,500	△31.7	1,550	△31.7	1,000	△21.6	38.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	26,535,508 株	25年3月期	26,535,508 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	280,858 株	25年3月期	332,792 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	26,234,267 株	25年3月期2Q	26,130,254 株

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(26年3月期2Q228,700株、25年3月期280,700株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れリスクが懸念されるものの、政府の経済対策や日本銀行の金融政策を背景に、個人消費や設備投資の持ち直し、企業収益の改善など明るい兆しが見え始めております。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が、米国の作付け遅れや需給の引き締めから高値水準で推移しました。7月中旬以降、米国産の豊作が見込まれることから値を下げましたが、為替が円安で推移していることもあり、原材料価格は高止まりしております。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は配合飼料価格を2度値上げしましたが、原材料価格の上昇分全てを転嫁できなかったことや飼料価格安定基金の負担金上昇による費用の増加など、厳しい事業環境が続きました。また、配合飼料価格の上昇時に畜産家に対して支払われる補てん金が、当第2四半期は満額交付されず、農林水産省の配合飼料価格高騰緊急対策による特別交付金と合わせても、満額補てん額の約4分の3しか手当てできなかったため、畜産家にとっても非常に厳しい経営環境でありました。その影響を受け、配合飼料販売量は前年同四半期を下回ることが見込まれます。

このような状況のなか、当社は畜産家の経営安定と飼料の拡販を図るために、補てん金及び特別交付金でカバーできない部分につき特別対応し、実質的に満額補てんを実現しました。また、原料高騰に対応するために、原料調達国多様化の推進、原料の有効的利用によるコストダウン等を実施し、原価の低減に注力しました。さらに、新たな市場開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減などにより業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高742億87百万円（前年同四半期比15.8%増）、営業利益7億80百万円（前年同四半期比20.9%減）、経常利益9億39百万円（前年同四半期比14.4%減）、四半期純利益6億11百万円（前年同四半期比26.1%増）となりました。

主力の畜産飼料において、販売量が前年同四半期とほぼ横ばいだったものの、平均販売価格が上昇したことにより、売上高は15.8%の増収となりました。売上総利益は、基金の特別対応7億64百万円があったものの、原価低減の推進や高付加価値製品の拡販などで3.2%の増益となりました。一方、経常利益は、飼料価格安定基金負担金の増加3億62百万円などにより販売費及び一般管理費が増加したため、14.4%の減益となりました。経常利益は減少したものの、前期に特別損失に計上した工場移転費用3億14百万円がなくなったことなどにより、四半期純利益は26.1%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (飼料)

売上高は、平均販売価格が前年同四半期を上回ったことから、前年同四半期比16.8%増の627億71百万円となりました。セグメント利益は、原価低減活動や高付加価値製品の拡販などで畜産飼料の利益率が上昇したものの、基金の特別対応、飼料価格安定基金負担金の増加や水産飼料原料の高騰などにより、前年同四半期比30.5%減の5億94百万円となりました。

## (コンシューマー・プロダクツ)

自社開発の畜産物取扱量、ペットフードの販売量がともに増加したことにより、売上高は、前年同四半期比11.7%増の80億80百万円となりました。ペットフードが原材料価格の高騰と競争激化により減益となったため、セグメント利益は、前年同四半期比12.4%減の1億1百万円となりました。

## (その他)

売上高は、前年同四半期比8.3%増の34億35百万円、セグメント利益は、前年同四半期比116.9%増の2億7百万円となりました。増益となった主な理由は、畜産用機器の増収効果によるものであります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億8百万円減少の656億54百万円となりました。流動資産は392億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億44百万円減少しました。これは主にその他の流動資産が6億62百万円増加したものの、原材料及び貯蔵品が8億34百万円減少したことによるものであります。固定資産は263億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億63百万円減少しました。これは主に投資有価証券が5億39百万円増加したものの、有形固定資産が5億47百万円、無形固定資産が2億27百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ10億36百万円減少の299億66百万円となりました。流動負債は238億円となり、前連結会計年度末に比べ13億85百万円減少しました。これは主に支払手形及び

買掛金が1億69百万円、その他の流動負債が3億96百万円増加したものの、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が19億80百万円減少したためであります。固定負債は61億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億48百万円増加しました。これは主に長期借入金が3億27百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ6億28百万円増加の356億87百万円となりました。これは主に利益剰余金が4億1百万円、その他有価証券評価差額金が3億2百万円増加したことによるものであります。総資産が減少して純資産が増加した結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント増加の54.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、12億43百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における資金の増加は2億3百万円でありました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は29億7百万円（前年同四半期比25億98百万円増加）となりました。主な資金獲得の要因は税金等調整前四半期純利益9億23百万円及び減価償却費12億91百万円の計上、たな卸資産の減少8億67百万円であります。一方、主な資金使用の要因は法人税等の支払額4億26百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は8億67百万円（前年同四半期比15億1百万円減少）となりました。これは主に固定資産の取得による支出8億26百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は18億38百万円（前年同四半期19億9百万円の資金獲得）となりました。これは主に借入金の減少が純額で16億56百万円、配当金の支払額2億9百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表いたしました数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,054	1,257
受取手形及び売掛金	28,563	28,342
商品及び製品	2,289	2,182
仕掛品	573	652
原材料及び貯蔵品	5,414	4,579
その他	1,826	2,488
貸倒引当金	△310	△236
流動資産合計	39,411	39,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,914	6,730
機械装置及び運搬具 (純額)	5,864	5,634
工具、器具及び備品 (純額)	618	588
土地	7,153	7,155
リース資産 (純額)	7	24
建設仮勘定	130	8
有形固定資産合計	20,688	20,141
無形固定資産		
のれん	8	4
その他	1,545	1,322
無形固定資産合計	1,554	1,326
投資その他の資産		
投資有価証券	3,361	3,900
長期貸付金	1,164	1,101
その他	730	812
貸倒引当金	△848	△894
投資その他の資産合計	4,408	4,919
固定資産合計	26,650	26,387
資産合計	66,062	65,654

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,823	10,992
短期借入金	9,400	7,400
1年内返済予定の長期借入金	1,768	1,788
未払法人税等	445	358
賞与引当金	353	507
役員賞与引当金	38	—
その他	2,357	2,754
流動負債合計	25,185	23,800
固定負債		
長期借入金	3,977	4,304
退職給付引当金	374	397
債務保証損失引当金	87	49
資産除去債務	82	83
負ののれん	41	20
その他	1,254	1,311
固定負債合計	5,817	6,166
負債合計	31,003	29,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	28,477	28,879
自己株式	△208	△175
株主資本合計	33,318	33,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,158	1,461
繰延ヘッジ損益	587	468
為替換算調整勘定	△16	△14
その他の包括利益累計額合計	1,729	1,915
少数株主持分	11	19
純資産合計	35,059	35,687
負債純資産合計	66,062	65,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	64,161	74,287
売上原価	57,593	67,511
売上総利益	6,568	6,776
販売費及び一般管理費		
運賃	1,216	1,239
飼料価格安定基金負担金	1,486	1,849
のれん償却額	38	4
賞与引当金繰入額	259	320
貸倒引当金繰入額	△42	△10
その他	2,623	2,591
販売費及び一般管理費合計	5,582	5,995
営業利益	986	780
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	49	61
負ののれん償却額	44	20
貸倒引当金戻入額	—	17
債務保証損失引当金戻入額	1	37
持分法による投資利益	7	—
保管料収入	54	54
その他	72	95
営業外収益合計	240	294
営業外費用		
支払利息	46	43
貸倒引当金繰入額	20	—
持分法による投資損失	—	24
保管料原価	47	48
その他	14	19
営業外費用合計	129	135
経常利益	1,097	939
特別利益		
固定資産売却益	3	3
補助金収入	9	—
特別利益合計	12	3
特別損失		
固定資産除売却損	3	12
投資有価証券評価損	7	7
ゴルフ会員権評価損	0	0
工場移転費用	314	—
特別損失合計	326	20
税金等調整前四半期純利益	783	923
法人税、住民税及び事業税	238	354
法人税等調整額	65	△47
法人税等合計	303	307
少数株主損益調整前四半期純利益	479	616
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△5	4
四半期純利益	485	611



(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	479	616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	302
繰延ヘッジ損益	△158	△119
為替換算調整勘定	0	3
その他の包括利益合計	△233	187
四半期包括利益	246	803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251	797
少数株主に係る四半期包括利益	△4	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	783	923
減価償却費	1,235	1,291
持分法による投資損益 (△は益)	△7	24
のれん償却額	38	4
負ののれん償却額	△44	△20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	76	153
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38	△38
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23	23
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△1	△37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21	△27
受取利息及び受取配当金	△59	△68
支払利息	46	43
為替差損益 (△は益)	2	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	7	7
ゴルフ会員権評価損	0	0
固定資産除売却損益 (△は益)	0	9
売上債権の増減額 (△は増加)	△123	159
たな卸資産の増減額 (△は増加)	581	867
仕入債務の増減額 (△は減少)	△209	161
その他	△1,172	△164
小計	1,117	3,308
利息及び配当金の受取額	60	69
利息の支払額	△47	△44
法人税等の支払額	△821	△426
営業活動によるキャッシュ・フロー	308	2,907
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付けによる支出	△25	—
貸付金の回収による収入	78	81
有価証券の取得による支出	△1	△103
固定資産の取得による支出	△2,430	△826
固定資産の売却による収入	6	21
関係会社出資金の払込による支出	—	△70
その他の支出	△7	△3
その他の収入	9	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,369	△867

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	619	△2,000
長期借入れによる収入	2,000	1,400
長期借入金の返済による支出	△529	△1,056
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	27	27
リース債務の返済による支出	—	△3
配当金の支払額	△208	△209
少数株主からの払込みによる収入	—	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,909	△1,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△151	203
現金及び現金同等物の期首残高	980	1,040
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	836	1,243

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	53,756	7,232	60,989	3,172	64,161	—	64,161
セグメント間の 内部売上高又は振替高	293	0	293	4	297	△297	—
計	54,049	7,232	61,282	3,176	64,459	△297	64,161
セグメント利益	855	116	971	95	1,067	△283	783

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△503百万円、金融収支459百万円、工場移転費用△314百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	62,771	8,080	70,851	3,435	74,287	—	74,287
セグメント間の 内部売上高又は振替高	378	0	378	19	398	△398	—
計	63,150	8,080	71,230	3,455	74,686	△398	74,287
セグメント利益	594	101	696	207	903	19	923

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△486百万円、金融収支497百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。